

News Release

2022年9月22日

コーポレート・ベンチャー・キャピタルによる出資と事業提携に関する覚書締結 オーストリアの風力発電機用スマートセンサー開発スタートアップとの共創

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：木村和正）のコーポレート・ベンチャー・キャピタル（以下「CVC」）である、Nabtesco Technology Ventures L.P.（General Partner：練馬 洋）は、この度、風力発電機用スマートセンサー開発のスタートアップ eologix sensor technology gmbh（以下「eologix社」）へ出資し、ナブテスコが同社との事業提携に係る覚書を締結したことをお知らせいたします。

気候変動問題が深刻化するなか、温暖化対策として、風力発電への期待がますます高くなっています。全世界での陸上・洋上風力発電市場は、2030年には、2021年の800GWから2倍以上の1900GWになると予想されています。陸上では寒冷地での設置による耐環境性、また、洋上では機器の大型化による機器制御のさらなる安全性が求められます。

eologix社は、風力発電機ブレードの着氷検知を始めとする高度な状態監視により、風力発電機の発電効率向上を可能とするスマートセンサーを提供しています。当センサーは、その高い信頼性と技術の有効性が評価され、すでに欧州で700基以上の風力発電機に設置されています。一方、当社は、風力発電機ヨー旋回部の状態監視と故障回避を実現する風力発電機用CMFS（Condition Monitoring system with Fail-Safe）機器の販売および診断サービスを提供しています。

この度の出資・事業提携により、eologix社の優れた状態監視技術と当社のCMFS技術の融合を図り、高度な状態監視システムや発電効率向上システムを開発いたします。また、当社は、風力発電機向け事業分野での製品開発の加速と人員強化をはかり、欧米市場を始めとする国際市場での販売拡大を追求していきます。これにより、風力発電機メーカーおよび風力発電事業者の皆さまに向けて、メンテナンス費用の低減や売電収入の増加に寄与する画期的な新製品・サービスを創造してまいります。

今後も当社は、モーションコントロール技術におけるイノベーションを加速させるとともに、その技術を活かして気候変動問題を含めたSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献してまいります。

以上

【eologix社の概要】

会社名	eologix sensor technology gmbh
代表者の役職・氏名	CEO : Dr. Thomas Schlegl
所在地	Kratkystraße 2 8020 Graz, Austria
設立	2014年
事業内容	風力発電機ブレード着氷検知、ブレードピッチ角検知等が可能な無給電/自律測定スマートセンサーの開発、製造、販売
ホームページ	https://www.eologix.com